

2023年度 パレット保育園・不動前 事業報告書

●保育理念

“ひとりひとりに生きる力を！”

1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。
2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。
3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます

●保育の目標

スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉がけをし、自らがお手本となるような行動をとる。

スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。

スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受けとめていく。

●保育の方針

「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合せ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。

1. スタッフの基本行動原則「丁寧・賞賛・感覚・微笑・予習＝余裕」に基づき、保育者チームは、大きな家族の構成員として見守る保育を実践します。
2. “個性豊かで元気な頭の良い子”を願う保護者のニーズに応えられる「幼児プログラム」を実践します。幼児教育プログラム実践の要諦は、子ども自身の「意欲」です。「やりたい、知りたい」という好奇心を大切にします。
3. 自分のことはできる限り自分でできる喜びを得る、そして最後までやり抜く、頑張れる「自立支援」保育を実践します。
4. 縦割り実践教育形態を通じ、小さな子、弱い子を思いやれる、仲間との関係を大切にする、など他者との中で「自律」する力をつける保育を実践します。
5. 自分は愛されている、そして、頑張ればやり通すことができるという「自尊感情」を育み、人間の土台づくりをする保育を実践します。

1. 中期事業計画のテーマ

- 経営の安定化
- 選ばれる保育園づくり

2. 園目標 ～中期事業計画のテーマを踏まえた～

1. クラス間での連携をスムーズに行えるように、スタッフとのコミュニケーションや情報共有を密に行い、見通しの良い保育を行っていく。
2. 子どもの興味・関心に合わせて、様々な活動を考え、発達に沿って適切に計画を立て、集団適応への援助を行っていく。
3. 大きな家族としてみんなで見守り、一人ひとりの輝きを大切に、のびのびすこやかに過ごせるように居心地の良いパレットを作っていく。

3. 原因分析

達成または未達成の原因および次年度への課題

1. 見通しの良い保育を行うことができるように、園運営 mtg やクラス mtg の回数を増やした。リーダー mtg の回数が少なかったため、来年度は回数を増やしてより良い保育ができるように努めていく。
2. スタッフ 1 人 1 人が子どもの興味・関心に合わせたり、発達と考えながら日々の活動を行っていた。引き続き子どもの気持ちに寄り添える保育を行うことができるように日々の昼礼や園内会議で情報共有を行っていく。
3. 大きな家族としての認識のもと、話し合いをしながらのびのび過ごすことができるように環境を整えていった。引き続き環境を整えることができるように話しあっていく。

4. 開所日及び開所時間

事業	開所時間
平日	7:00～20:00
土曜日	8:00～18:00
休園日	日・祝日・12/29～1/3

5. 定員数

・利用定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
9	12	14	1	-	-	36

・入所児童数

3月31日時点

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
9	12	9	-	-	-	30

6. 年間行事実施日

月	行事等の名称	対象者
5月13日	親子レクリエーション	園児とその保護者
6月10日	個人面談	園児とその保護者
7月8日	夏祭り	園児とその保護者
11月・12月	パレット学習タイム参観	園児とその保護者
10月28日	運動会	園児とその保護者
1月13日	個人面談	園児とその保護者
2月17日	発表会	園児とその保護者
3月23日	入園・進級説明会	進級園児とその保護者

7. SDGs に係る取り組み結果

 	<ul style="list-style-type: none"> ●質の高い保育の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返り、mtgによる気づきの共有 →質の高い保育の実践に向けて振り返りや mtg を行った。 ●気になる子支援 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士による定期的な巡回、PECSによる意思疎通の手段の確立 ・通所療育の訪問における情報共有 →今年度は気になる子がいなかったため、巡回は行わなかったが、来年度必要な時は巡回を行っていく。 ●質の高い給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・遊びごころのある盛り付けの工夫 →園児が横口コぶような遊びごころのある給食の提供を行った。 ●能力開発プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・園の特色・取り組みの積極的公開 →HP、見学会や地域イベントを通して能力開発プログラムの実践を行った。
 	<ul style="list-style-type: none"> ●充実した休暇制度 <ul style="list-style-type: none"> ・希望に沿った休暇を取得できる仕組みの導入 →スタッフが希望する休暇を取得した。
  	<ul style="list-style-type: none"> ●働き方向上 <ul style="list-style-type: none"> ・細かいシフト作りによる業務改善 →施設長と副施設長が細かいシフト作りを行って、業務改善を図った。来年度もさらに細かなシフト作りを行っていく。 ●充実した年間研修計画 <ul style="list-style-type: none"> ・必要な研修を優先的に実施

	<p>→キャリアアップ研修や園内研修を行った。来年度はさらに計画的に研修を行っていく。</p> <p>●キャリアパスの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据えた育成計画 <p>→さらにスタッフに見える化したキャリアパスの設定を行っていく。</p>
	<p>●地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お散歩での商店街の方との交流 <p>→お散歩を通して商店街の方との交流を深めた。</p> <p>●虐待防止、貧困対策への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護家庭に対する行政との情報共有 <p>→今年度は対象者がいなかったが、引き続き細かな視診等を行って様子を見ていく。</p>
	<p>●食品ロスの低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数に合った発注の見直し <p>→引き続き細かな見直しを行い、人数に合った発注を行っていく。</p> <p>●設備チェック・整備による使用寿命延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不備に対する迅速な対応 <p>→細かな設備や整備チェックを行い、迅速に対応していく。</p> <p>●省エネ・節電</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有限エネルギーを意識した生活 <p>→今年度はスタッフ1人1人の認識が甘かったように感じるので、来年度は意識して行っていく。</p> <p>●エコ活動・リサイクルを取り入れた保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源を意識した活動の取り組み <p>→さらなる資源を意識した活動の取り組みを行っていく。</p>

8. 保護者との連携の報告

- ・ コドモンによる家庭との日々の連絡をおこなった
- ・ 個人面談で園児ひとりひとりの成長や園での様子を報告した
- ・ 懇談会では、クラスの様子を伝え、クラスごとの結果や育ちを報告した
- ・ 日々細かな引継ぎを行い、保護者の安心感に繋げていった。

9. 第三者評価に対する取組（もしくはサービス向上に向けた取組）

- ・ 3年に1回、第三者評価を受審

- ・ 姉妹園施設長による環境整備チェックを実施
 - ・ 地下の防火扉前の荷物の確認・手順書の更新・mtg ノートの元気度の漏れ・事務所内のポットの位置・消火器カバー設置・廊下の角のコーナーガードの設置・掲示物の更新・棚の上の滑り止めシートの設置・ピアノの上の荷物の撤去

10. セルフモニタリングの実施報告

- ・ 園内での怪我や園児による喧嘩などの報告を都度おこなった
- ・ 職員会議や昼礼で、共有した
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルを見直し、研修をおこなった

11. 苦情対応・解決の取組

- ・ 園で独自の苦情解決窓口を設置し、解決への取り組みを図った
- ・ 苦情申し立ての流れを保育園の玄関に掲示した
- ・ 第三者委員の連絡先を掲示した

12. 職員の研修

- ・ 年間研修計画に基づき、園内研修を実施した
- ・ 個人ごとの研修計画・記録一覧に基づき、行政等主催の研修に参加した
- ・ 姉妹園での保育士の交換保育・視察研修をおこなった
- ・ 給食、事務スタッフは年2回の全体研修を実施した

13. 職員の労働条件・労働環境保持のための取組

- ・ 就業規則、賃金規程、36、32、24協定を制定し、労働基準監督署へ届け出た
- ・ 育児休暇、介護休暇について制定
- ・ 退職金規程を制定
- ・ 法人総務部にて、雇用管理の改善等に関する事項にかかる相談窓口を設置

14. 児童・職員の健康管理

- ・ 園児の健診については年に2回学校保健安全法に規定する健康診断に準じて実施した
- ・ 職員の健康診断は4月、5月、6月に順次受診（人間ドック希望者は個々受診）した
- ・ 中途採用者の場合は、採用前に実施・未実施の確認した
- ・ 感染症予防・衛生管理マニュアルに基づき、研修および感染症の予防に努めた
- ・ 園内で発生した場合は、速やかに掲示またはメール配信にて、保護者へ状況説明した

15. 安全安心に対する取組

(1) 事故の防止策と対応策

- ・ 全スタッフ配布のハンドブックに「安全に関する規定」等を掲載し、職員に周知した
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

(2) 不審者対策

- 不審者対策を目的とした避難訓練を年に1回以上実施した
- 不審者対応マニュアルにて研修を実施した
- 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

(3) 防火・防災対策

- 毎月避難訓練および消火訓練を実施した
- 消防用設備の点検については専門業者へ委託し、年に2度実施した
- 危機管理マニュアルにて研修を実施した
- 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

16. 虐待防止の取組

- 児童虐待対応マニュアルにて研修を実施した
- 希望職員は外部研修へ参加し、研修内容を職員に共有した
- 毎日小まめに視診を行い、虐待の早期発見に努めた。

17. 給食に対する取組

- 給食マニュアルにて研修を実施した
- 物語メニュー、あそびごころのある盛り付けチームにて給食の質を向上に努めた
- 年に2回全体研修をおこない、スキルアップを図った